

地質情報展 2025 くまもと： 熊本地震震災ミュージアムの出展

熊本県観光文化政策課¹

1. はじめに

熊本県観光文化政策課では、熊本地震の教訓等を後世に継承するため、熊本地震震災ミュージアムの取組みを推進しています。令和7年9月13日～15日に熊本城ホールで開催された「地質情報展 2025 くまもと」では、熊本地震震災ミュージアムの取組みを紹介するため、パネル展示及び映像の上映等を行いました。

本稿では、熊本地震震災ミュージアムの概要と、今回の展示内容について紹介いたします。

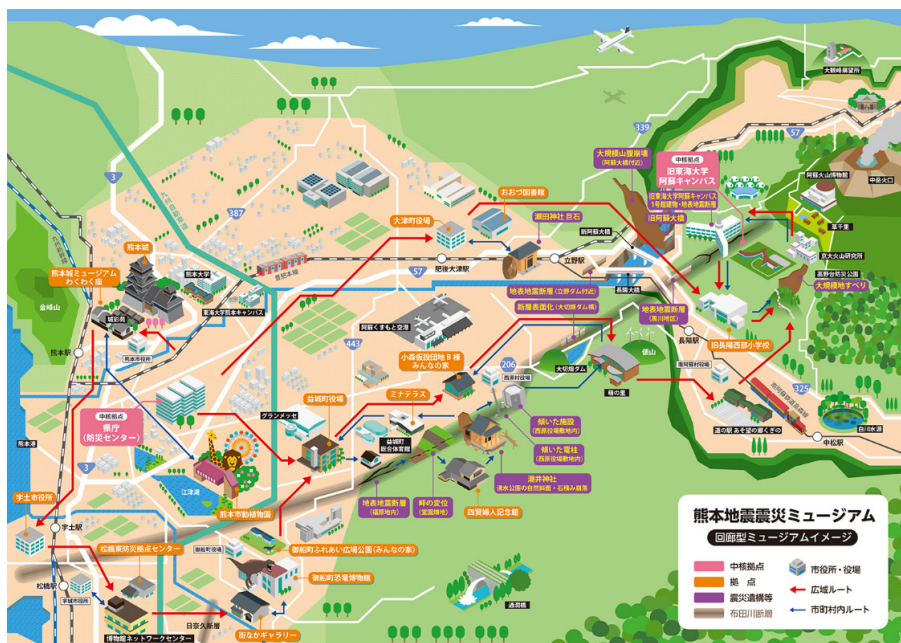
2. 熊本地震震災ミュージアムの概要

平成28年4月に発生した熊本地震は、観測史上初めて、同一地域において震度7の地震がわずか28時間の間に2度発生し、県内各地で大きな被害をもたらしました。熊本県では、熊本地震からの創造的復興の具体化を図るため、発災後直ちに「くまもと復旧・復興有識者会議」を組織し、有識者会議から「震災ミュージアムや防災センターの設立

が望まれる」との提言をいただきました。その後、「熊本地震震災ミュージアムのあり方検討有識者会議」を組織し、会議からの報告を受け、震災遺構や情報を発信する拠点等を広域的につなぎ、巡る「廻廊形式」による震災ミュージアムの取組みを進めています。

熊本地震震災ミュージアム(以下、震災ミュージアム)は、①熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承する、②今後の大規模災害に向けた防災対応の強化を図る、③熊本の自然特性を学び、改めて自然を恐れ、郷土を愛する心を育む、④これらの取組みを通して、国内外からの交流人口の拡大を図り、防災地域、ひいては熊本県の更なる発展につなげることを基本的なコンセプトとしています。廻廊形式の震災ミュージアムは、県が広域的視点から情報発信する「中核拠点」、市町村がそれぞれの視点から情報発信する「地域の拠点」、地震により生じた自然の遺物や人工構造物、建物等を始め、熊本地震の記憶等を伝える有形・無形のものも含めた「震災遺構」から構成されています。

第1図は、震災ミュージアムの全体マップです。本県に



第1図 震災ミュージアムの全体マップ。

¹ 熊本県観光文化政策課 〒862-8570 熊本県中央区水前寺 6-18-1

キーワード：地震、熊本地震、震災ミュージアム、記憶の廻廊、断層

おける震災ミュージアムは、県内各地に点在する震災遺構等をエリアでとらえ、複数の震災遺構や拠点を巡る廻廊式のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」により、熊本地震の記憶や経験、教訓等を後世に伝承していくため、様々な取組みを進めています。

3. 熊本地震震災ミュージアムにおける中核拠点

(1) 震災遺構

県において、中核拠点として旧東海大学阿蘇キャンパス(南阿蘇村)と熊本県庁防災センターを整備し、その1つである旧東海大学阿蘇キャンパスには、旧東海大学阿蘇校舎1号館建物(写真1)及び地表地震断層(写真2)を一体的に保存している震災遺構と、体験・展示施設である熊本地震震災ミュージアムK I O K U(写真3)を整備しています。建物の真下を断層が走り、断層活動による建物への影響を見ることができる旧東海大学阿蘇校舎1号館、そして、地面の亀裂・横ずれが見られる地表地震断層、こうした大規模建物とその直下を走った断層を一体的に保存している施設は国内でも他に例がありません。



写真1 旧東海大学阿蘇校舎1号館。



写真2 地表地震断層。



写真3 体験・展示施設K I O K U。

(2) 体験・展示施設K I O K U

体験・展示施設K I O K Uでは、震災遺物の展示や当時を振り返る映像シアター、各種プログラムを通して、熊本地震の被災の様子、その発生のメカニズム、そして防災について学ぶことができます。

K I O K Uは3つの展示室から構成されています。展示室1では、地震発生時に土砂で潰された自動車や崩落した阿蘇大橋の標識などを震災遺物として展示するとともに、シアタールームでは、地震発生当時の映像を通じて、熊本地震の「その時」を振り返ることができます。展示室2では、熊本の大地の地形や地質の状況を表すジオラマや布田川断層帯の剥ぎ取り標本の展示等を通じて、熊本の大地の動きや特徴を学び、地震との関連性などを学ぶことができます。展示室3では、熊本地震の教訓から自身の今後の行動にどう生かすかを問いかけ、来館者が自分事として考えを深めることができます。

熊本地震の被害の実情が遺る震災ミュージアム中核拠点施設である旧東海大学阿蘇キャンパスにおいて熊本地震を追体験することで、熊本地震の教訓を後世に伝承していきます。

4. 地質情報展の展示について

今回の地質情報展での展示では、震災ミュージアムの取組み、K I O K Uの概要、各市町村の地域の拠点の紹介を中心としたパネル展示や映像の上映を行いました。親子連れを中心に、多くの来場者の方々に震災ミュージアムの取組みに関心を持っていただくきっかけとなる情報発信を行うことができました。

5. おわりに

熊本地震から2026年で10年を迎えます。この節目に、熊本県では熊本地震に関する情報や防災について発信を行い、様々な企画も開催する予定です。是非この機会に、熊本地震震災ミュージアムへご来館ください。

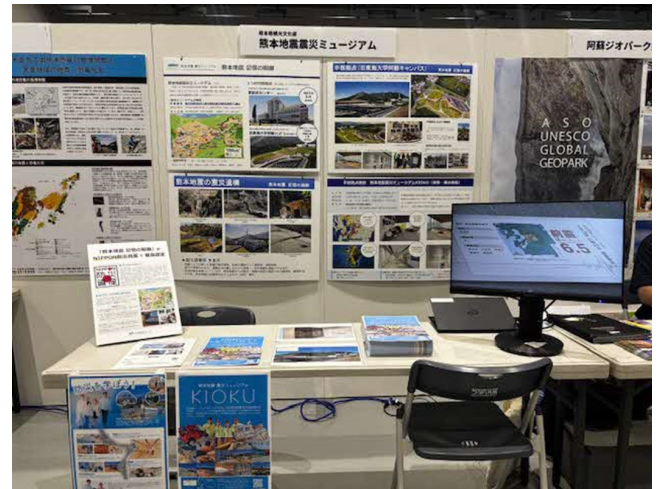


写真4 展示の様子。

Kumamoto Prefecture, Tourism and Cultural Policy Division (2026) Kumamoto Earthquake Disaster Museum exhibited at the Geoscience Exhibition in Kumamoto 2025.

(受付：2026年2月2日)